

## 週報

## 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	8
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	2
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0

### 広島県感染症発生動向週報

平成29年第18週(5月1日~5月7日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7			1		4	1	1
三類	0	発生なし	0							
四類	1	日本紅斑熱	1			1				
五類全数	3	ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1						1	
		梅毒	1		1					

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第18週 5/1~5/7)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

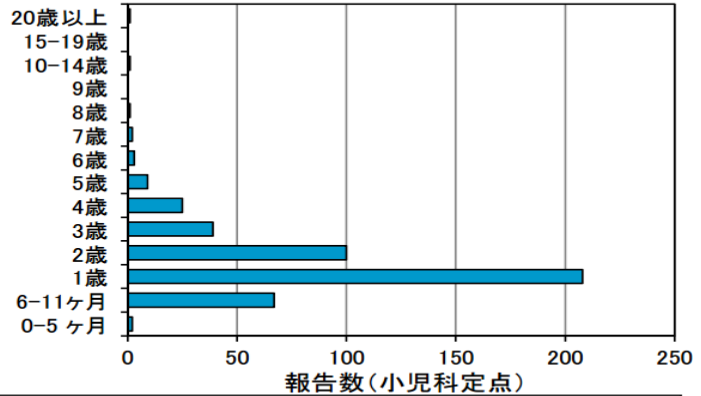
## 1. 手足口病

定点当たり3.50人と、例年同時期に比べて報告数が多くなっています。

手足口病は、口の中の粘膜や、手足などに水泡性の発しんがでるウイルス性の疾患で、潜伏期間は3~5日です。乳幼児を中心に主に夏に流行がみられます。

広島市における2017年第1~18週の小児科定点からの累積報告数(458件)を年齢階層別でみると、1歳が45.4%と最も多く、次に2歳が21.8%と2歳以下が全報告数の82.3%を占めています。

保育園や幼稚園などの乳幼児施設においては、手洗いの励行と排泄物の適切な処理、またタオルを共有しないなどの感染予防対策が重要となります。

小児科定点からの手足口病 年齢階層別報告数  
2017年累計(第18週現在)

2017年第18週(5月1日~5月7日)は、ゴールデンウィーク期間中のため、医療機関の休診の影響で、実際の患者数よりも少なく報告されている可能性があります。

したがって、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況(週報対象)」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

## ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィリ	インフルエンザ	24	0.65	1.13			小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.51		
	咽頭結膜熱	21	0.88	0.22				RSウイルス感染症	6	0.25	0.03		
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57	2.38	1.93			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		
	感染性胃腸炎	89	3.71	7.25				流行性角結膜炎	7	0.88	0.60		
	水痘	10	0.42	0.57			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	手足口病	84	3.50	0.32				無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03		
	伝染性紅斑	1	0.04	0.22				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17		
	突発性発しん	1	0.04	0.34				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	百日咳	-	-	0.01				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	4	0.57			
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.11									

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ↘ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	49	女性(10歳未満)1人、男性(20歳代)1人、男性(80歳代)1人、男性(90歳代)1人
5	ウイルス性肝炎	1	1	男性(40歳代)・B型・推定感染地域: 国外

## ■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(40.0) 咽頭炎	1	男	2017/04/02	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(38.8) 丘疹 嘔気	3	男	2017/03/29	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌T3型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載